

# バイオエタノールを使用した走行実証試験について

温暖化対策課

## 1 概要

県内に豊富に賦存するバイオマスを活用して温暖化対策を進めるため、北秋田市、潟上市において秋田スギや稲わらを原料とするバイオエタノールの製造実証が行われている。

また、昨年11月に専門家による「秋田県バイオエタノール推進会議」を設置し、生産から流通、利用にわたる地産地消型のシステム構築に向けた検討を進めている。

本年度は、稲わらを原料とするバイオエタノールを使用して、次のとおり走行実証試験を実施することとしている。

## 2 実証試験内容

### (1) F F V車による走行実証試験

事業名：農林水産省 ソフトセルロース利活用技術確立事業

事業期間：H22年度～H24年度

事業主体：カワサキプラントシステムズ(株)

F F V車(フレキシブル・フューエル・ビークル)

ガソリン、エタノールおよびそれらの混合燃料でも走行可能な自動車

本年度からバイオエタノール(E100)をF F V車の燃料に使用し、排気ガス成分、燃費、出力、始動性等について調査を実施する。

平成22年度は大潟村ソーラースポーツラインで6回の走行実証を予定している。



走行実証に使用するF F V車

メーカー：ゼネラルモーターズ

車種：シボレーHHR

### (2) E10車による公道走行実証試験

事業名：環境省 高濃度バイオ燃料実証事業

事業期間：H22年度

事業主体：秋田県

稲わらを原料として製造したバイオエタノールをガソリンに10%混合したE10燃料を使用し、国土交通大臣認定を取得した軽自動車(2台)により公道走行実証を実施し、排気ガス成分、燃費、出力、始動性等について調査するほか、車両への影響についても検証していく。



(参考)

農業機械でのエタノール使用予備試験

事業期間：H22年度

事業主体：(社)秋田県農業公社、カワサキプラントシステムズ(株)

ガソリンエンジンを搭載している農業機械でのバイオエタノール利用について検討を進めているが、その予備試験として5月19日にエタノールだけで田植機を動かす実験を行った。

今後は、手押し式草刈機で長期間エタノールを燃料として使用し、機械に与える影響等を調査する予定である。

実験に使用した田植機

型 式：乗用6条

エンジン：水冷4サイクル  
(電子制御式)



手押し式草刈機

エンジン：空冷4サイクル

